

# 2023年度 第2四半期 決算説明資料

2023年8月8日

株式会社オークネット  
(東証プライム：3964)



# 目次

1. 2023年度 第2四半期累計 決算概要	P. 3
2. セグメント別実績	P. 9
3. 2023年度 予想	P. 17
4. サステナビリティ	P. 22
5. 参考資料	P. 25

1. 2023年度 第2四半期累計 決算概要	P. 3
2. セグメント別実績	P. 9
3. 2023年度 予想	P. 17
4. サステナビリティ	P. 22
5. 参考資料	P. 25

# 2023年度 第2四半期累計 連結業績

- ▶ デジタルプロダクツ事業が減益傾向にあるものの、オートモビル事業及びコンシューマープロダクツ事業は引き続き好調であり、連結売上高、営業利益ともに前年同期比増加
- ▶ セグメント毎の想定に変更はあるものの、業績予想は修正無し（p.17～p.20参照）

(百万円)	FY2022 2Q累計	<b>FY2023 2Q累計</b>	YoY	FY2023 業績予想	進捗率
売上高	20,603	<b>21,931</b>	+6.4%	43,000	51.0%
営業利益	3,972	<b>4,006</b>	+0.9%	6,300	63.6%
営業利益率	19.3%	<b>18.3%</b>	△1.0pt	14.7%	
EBITDA	4,390	<b>4,368</b>	△0.5%	-	-
経常利益	4,104	<b>4,095</b>	△0.2%	6,322	64.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,467	<b>2,619</b>	+6.1%	3,945	66.4%
1株当たり四半期純利益	89円23銭	<b>100円44銭</b>	+11円21銭	158円92銭	63.2%

# 2023年度 第2四半期（3か月間） ハイライト

売上高

**11,202**百万円

前年同期比 **+10.9%**

営業利益

**1,860**百万円

前年同期比 **+1.7%**

経常利益

**1,926**百万円

前年同期比 **+0.3%**

親会社株主に帰属する四半期純利益

**1,228**百万円

前年同期比 **+5.8%**

## オートモビル事業

売上高 3,155百万円(+6.3%)

セグメント利益 1,018百万円(+7.0%)

詳細はp.9へ

サービス概要はp.31へ

## デジタルプロダクツ事業

売上高 1,879百万円(△0.3%)

セグメント利益 1,200百万円(△5.5%)

詳細はp.11へ

サービス概要はp.32へ

## コンシューマープロダクツ事業

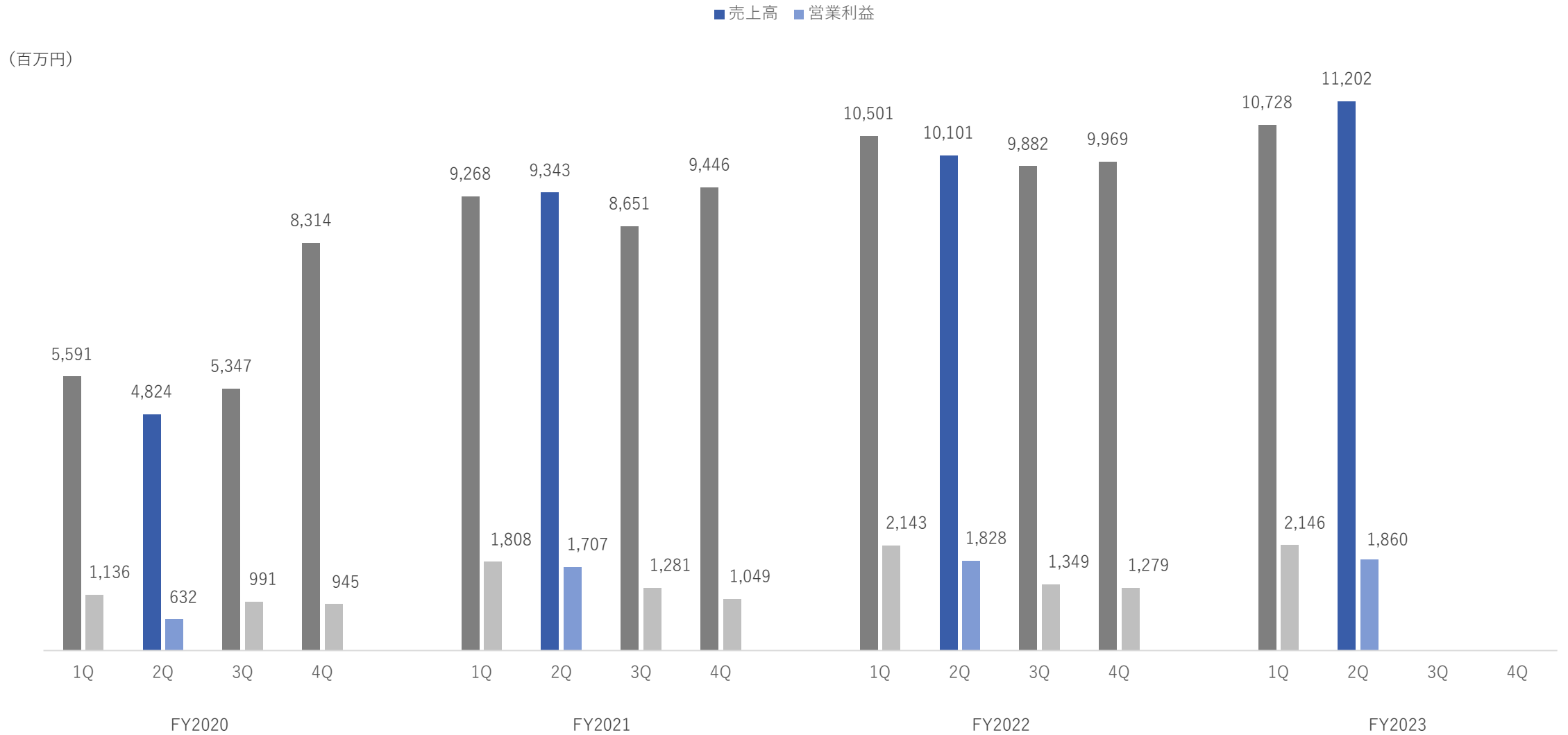
売上高 5,265百万円(+22.5%)

セグメント利益 444百万円(+11.5%)

詳細はp.13へ

サービス概要はp.33へ

# 2020～2023年度 四半期別連結業績推移



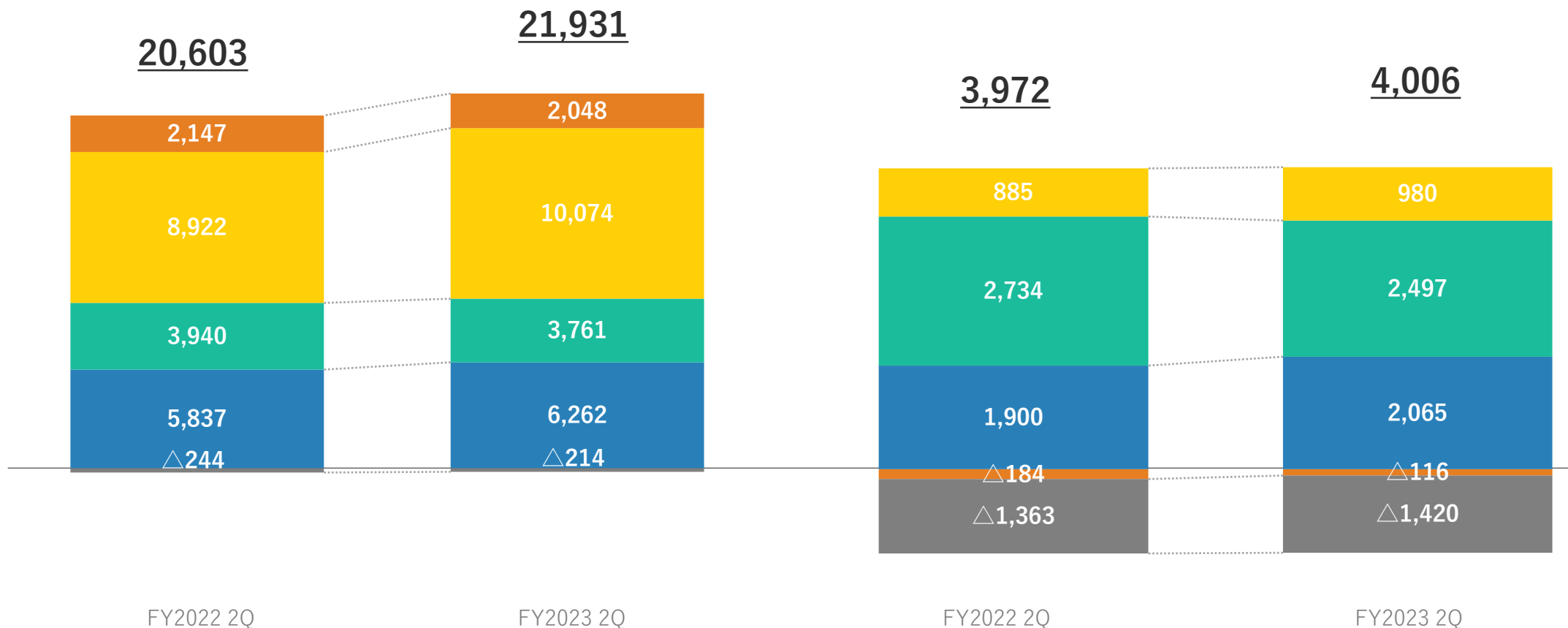
# 2023年度 第2四半期累計 セグメント別増減分析

- オートモビル事業
- デジタルプロダクツ事業
- コンシューマープロダクツ事業
- その他
- 調整

(百万円)

## 売上高

## 営業利益



# 2023年度 第2四半期累計 セグメント別取扱高



取扱高総額

**285,658** 百万円

(前年同期比+16.5%)

## オートモビル事業

**223,393** 百万円  
(前年同期比+20.5%)



## デジタルプロダクツ事業

**24,081** 百万円  
(前年同期比△6.6%)



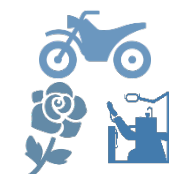
## コンシューマープロダクツ事業

**27,655** 百万円  
(前年同期比+16.9%)



## その他

**10,527** 百万円  
(前年同期比+2.3%)



※ 中古バイク事業、花き事業及びサーキュラーコマース事業等

※ 取扱高は、各事業における当社のサービスを通じて流通した商品の成約代金や商品販売による売上高の合計です

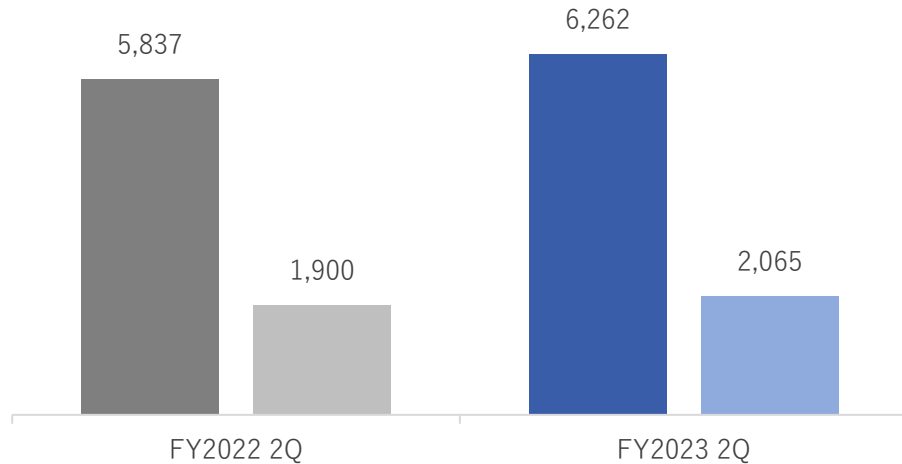


1. 2023年度 第2四半期累計 決算概要	P. 3
<b>2. セグメント別実績</b>	P. 9
3. 2023年度 予想	P. 17
4. サステナビリティ	P. 22
5. 参考資料	P. 25

- ▶ 前年同期比で増収増益（売上高 +7.3%、セグメント利益 +8.7%）
- ▶ 車両検査サービスにおいて、特に中古車情報誌認定検査の需要が引き続き高く、検査台数が前年同期比16%以上増加し、セグメント利益に大きく貢献
- ▶ 落札代行サービスにおいては、会員数及び落札台数の増加によって増益となり、上期累計で過去最高益を達成
- ▶ ライブ中継オークションにおいても、落札台数を大きく伸ばし引き続き堅調に推移

(百万円)

■ 売上高 ■ セグメント利益



### 売上構成

(百万円)	FY2022 2Q	FY2023 2Q	YoY
オークション関連収益	4,001	4,120	+3.0%
商品販売関連収益	176	240	+36.0%
その他	1,590	1,836	+15.4%
内部売上高又は振替高	68	64	
<b>売上高</b>	<b>5,837</b>	<b>6,262</b>	<b>+7.3%</b>

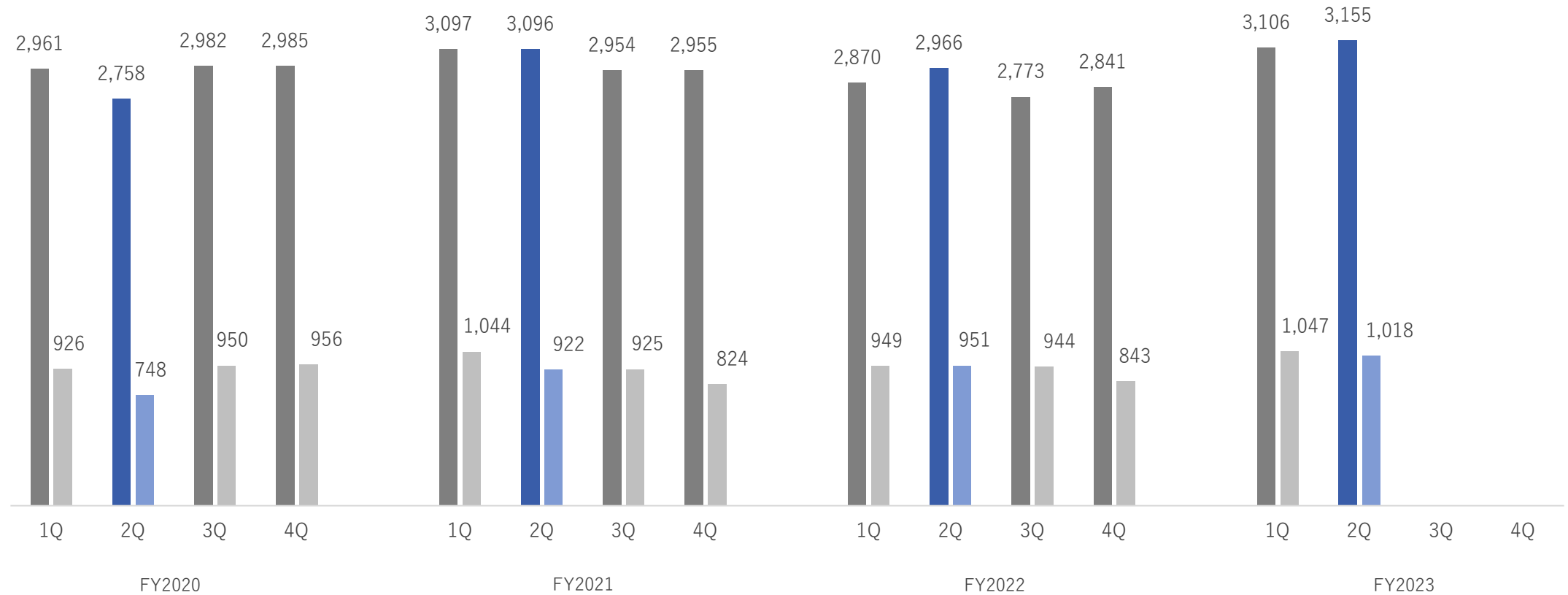
### KPI

		FY2022 2Q	FY2023 2Q	YoY
オークション関連	取扱高 (百万円)	185,438	223,393	+20.5%
	総成約/落札台数 (台)	218,453	257,181	+17.7%
会費	会員数 (会員)	14,706	15,091	+2.6%
検査料	検査台数※ (台)	538,234	625,934	+16.3%

※ 中古バイク検査を含みます

(百万円)

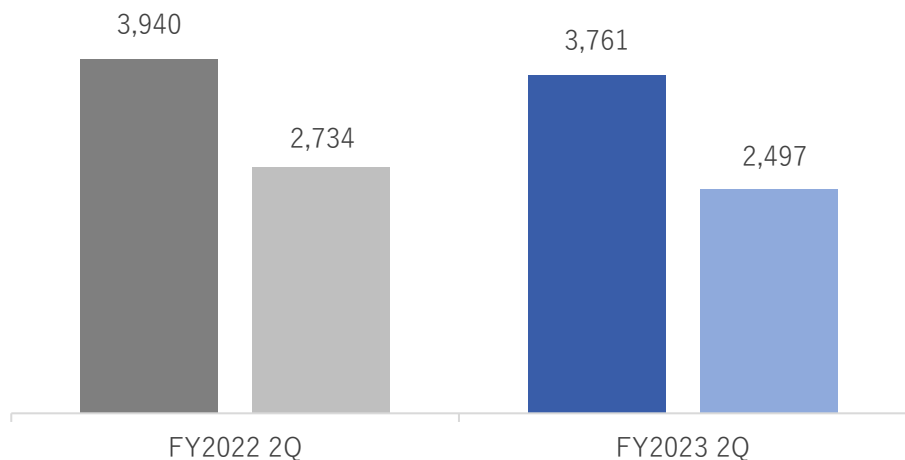
■売上高 ■セグメント利益



- ▶ 前年同期比で減収減益（売上高 △4.5%、セグメント利益 △8.6%）
- ▶ 流通台数が1Qに引き続き減少したことで取扱高は前年同期比で縮小。また、グローバル展開や組織強化への投資によるコストの増加もあり、減収減益
- ▶ 2Q(3か月間)において、新規バイヤー数は過去最多を記録するなど堅調なバイヤー網の拡大に加え、取引先の多様化によるソーシング強化に注力

(百万円)

■ 売上高 ■ セグメント利益



## 売上構成

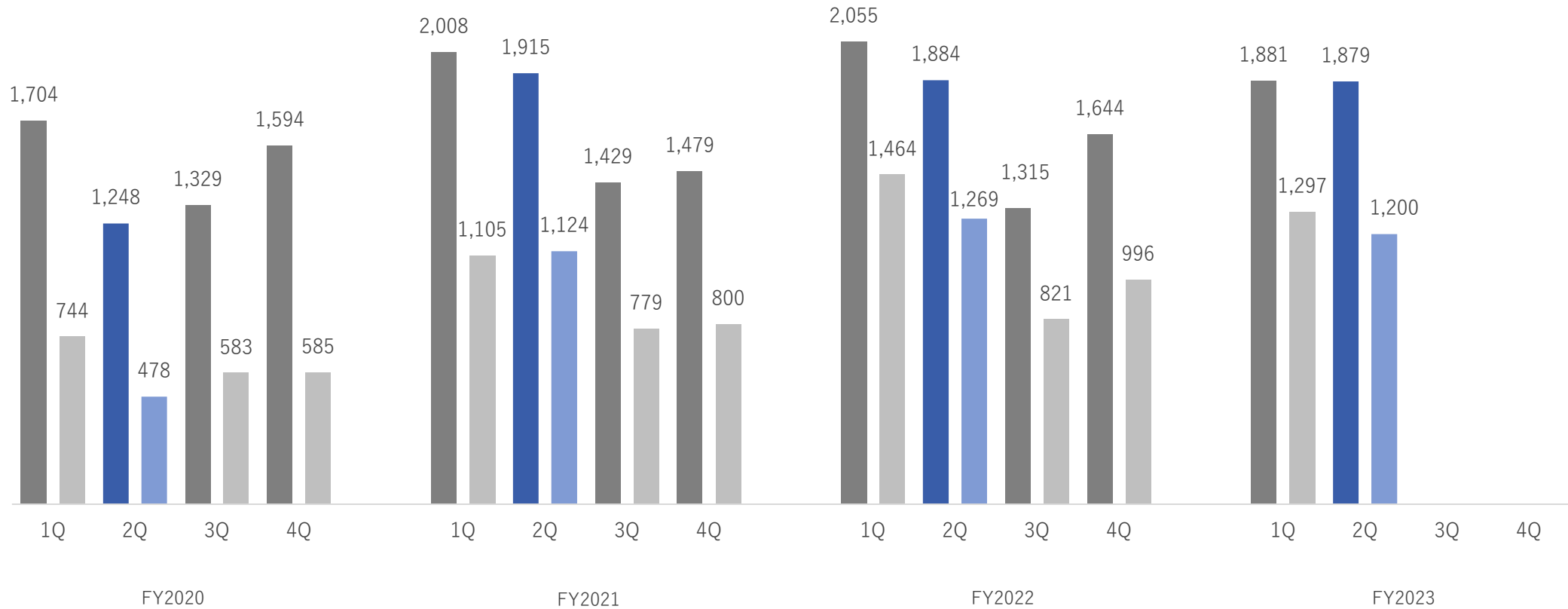
(百万円)	FY2022 2Q	FY2023 2Q	YoY
オークション関連収益	3,829	3,570	△6.8%
商品販売関連収益	110	191	+72.8%
その他	-	-	-
内部売上高又は振替高	-	-	-
<b>売上高</b>	<b>3,940</b>	<b>3,761</b>	<b>△4.5%</b>

## KPI

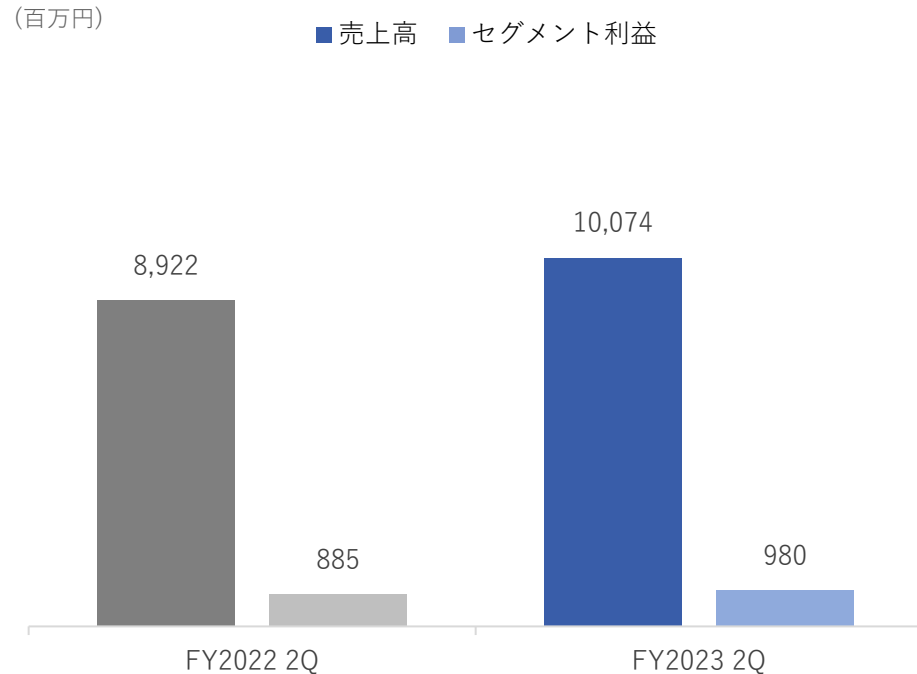
		FY2022 2Q	FY2023 2Q	YoY
取扱高	(百万円)	25,787	24,081	△6.6%
流通台数	(台)	1,025,120	875,318	△14.6%
会員数	(会員)	1,132	1,541	+36.1%

(百万円)

■ 売上高 ■ セグメント利益



- ▶ 前年同期比で増収増益（売上高 +12.9%、セグメント利益 +10.7%）
- ▶ B2B事業では、デジタルマーケティングにより新規会員数が堅調に推移しオークションが活性化したことに加え、大手企業との提携により出品点数および平均成約単価も上昇したことで取扱高が拡大した結果、増収増益
- ▶ C向け事業では、デジタルマーケティングにより良質な商品買取が出来たことに加え、インバウンド需要により販売顧客数の増加および販売単価が上昇した結果、増収増益



売上構成

(百万円)	FY2022 2Q	FY2023 2Q	YoY
オークション関連収益	1,214	1,408	+16.0%
商品販売関連収益	7,695	8,648	+12.4%
その他	12	17	+40.7%
内部売上高又は振替高	-	-	
<b>売上高</b>	<b>8,922</b>	<b>10,074</b>	<b>+12.9%</b>

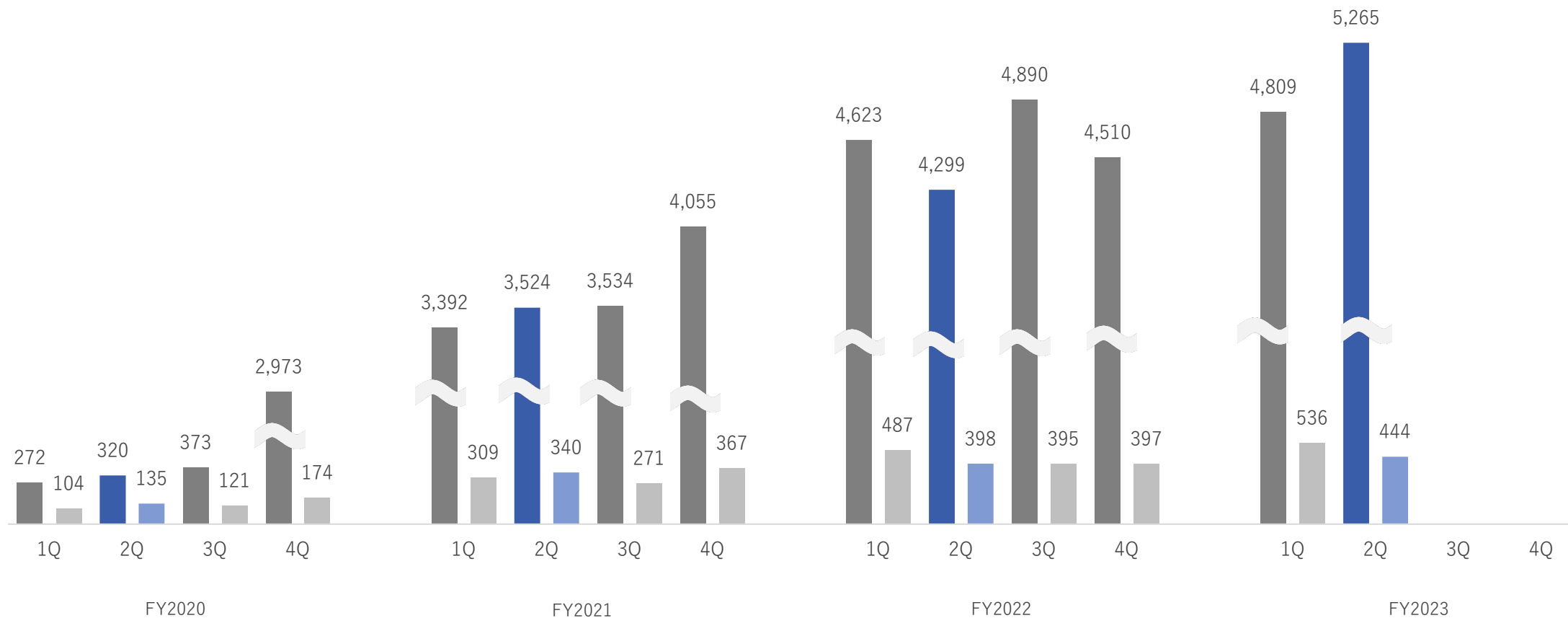
KPI

		FY2022 2Q	FY2023 2Q	YoY
B2B事業	取扱高 (百万円)	18,356	21,808	+18.8%
	出品点数 (点)	485,649	506,645	+4.3%
	成約点数 (点)	335,412	356,829	+6.4%
	会員数※ (会員)	3,690	4,503	+22.0%
C向け事業	取扱高 (百万円)	5,292	5,846	+10.5%

※2022年第3四半期より、会員数に海外バイヤー数を含めて開示しております

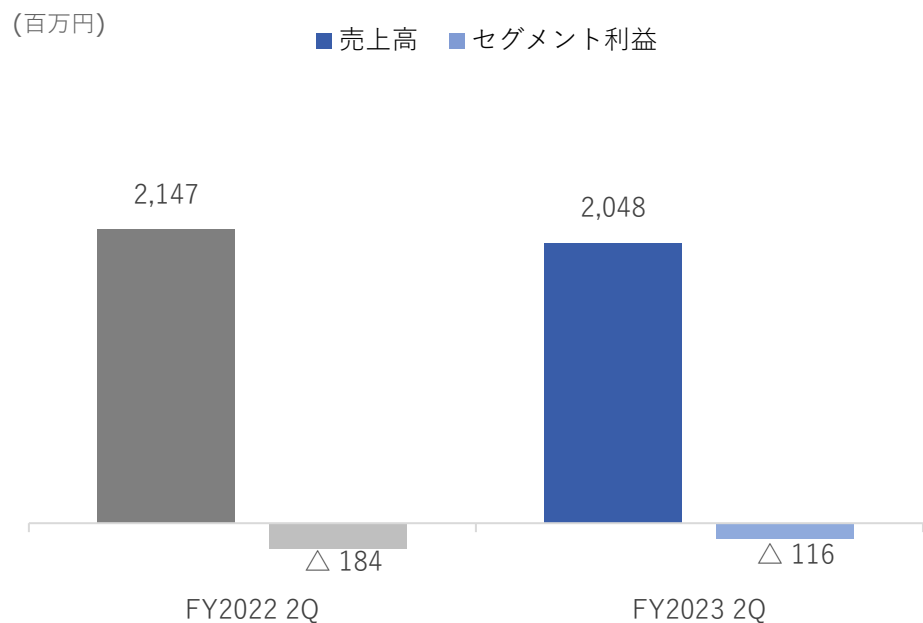
(百万円)

■売上高 ■セグメント利益



# 2023年度 第2四半期累計 実績

- ▶ 前年同期比で減収増益（売上高 △4.6% 前期営業損失184百万円）
- ▶ 花きにおいて、切花の集荷数が増加したことにより取扱高は拡大したものの、園芸ブームの一巡による鉢物の需要減や燃料費高騰の影響により増収減益
- ▶ 中古バイクにおいて、オークションの出品・成約台数や、個人向けサブスクリプションサービス「ME:RIDE」の稼働・保有台数は増加し、順調に推移
- ▶ 昨年末のカーセーの撤退の影響によりセグメント全体では減収増益



## 売上構成

(百万円)	FY2022 2Q	FY2023 2Q	YoY
オークション関連収益	973	<b>926</b>	△4.8%
商品販売関連収益	428	<b>389</b>	△9.1%
その他	569	<b>581</b>	+2.2%
内部売上高又は振替高	176	<b>150</b>	△14.6%
<b>売上高</b>	<b>2,147</b>	<b>2,048</b>	△4.6%



1. 2023年度 第2四半期累計 決算概要	P. 3
2. セグメント別実績	P. 9
<b>3. 2023年度 予想</b>	<b>P. 17</b>
4. サステナビリティ	P. 22
5. 参考資料	P. 25

# 2023年度 連結業績予想

▶ 2月14日に開示した連結業績予想から修正なし

(百万円)	FY2022	FY2023	YoY
売上高	40,455	<b>43,000</b>	+6.3%
営業利益	6,601	<b>6,300</b>	△4.6%
営業利益率	16.3%	<b>14.7%</b>	△1.7pt
経常利益	6,699	<b>6,322</b>	△5.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	4,346	<b>3,945</b>	△9.2%
1株当たり四半期純利益	159円48銭	<b>158円92銭</b>	△56銭
1株当たり配当金	48円00銭	<b>48円00銭</b>	—
配当性向	30.1%	<b>30.2%</b>	+0.1pt

# 2023年度 連結業績予想 セグメント別 概況

FY2023 業績予想 (2月14日時点想定)

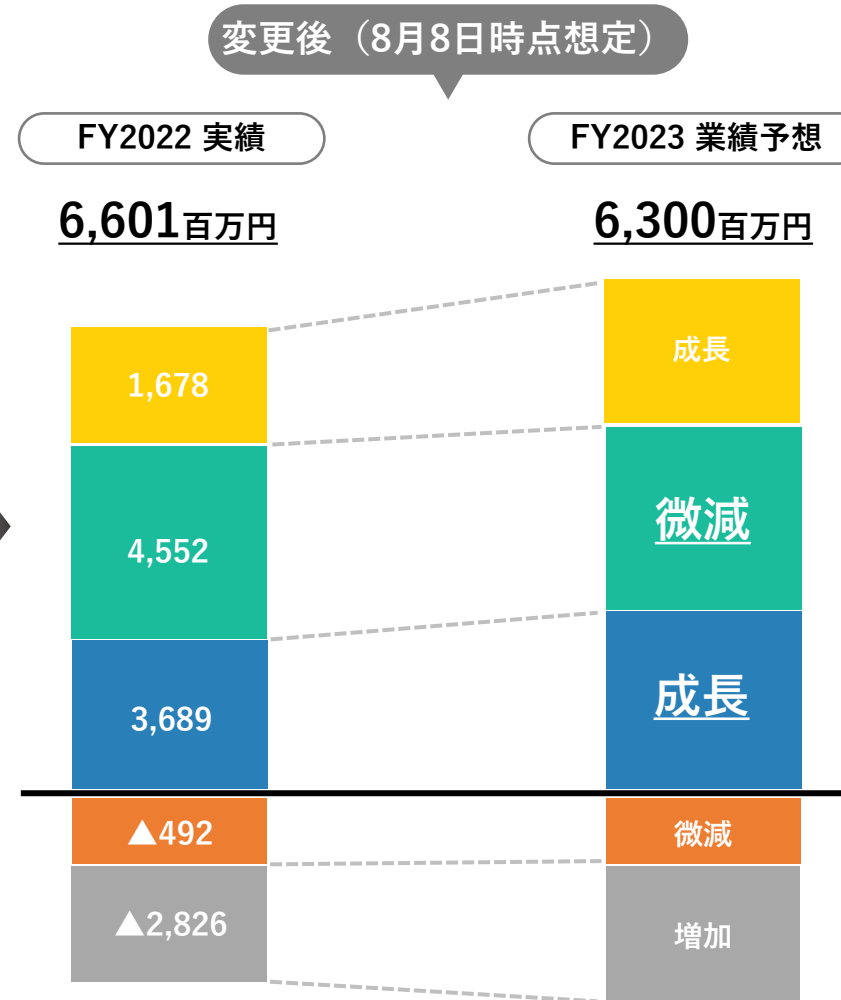
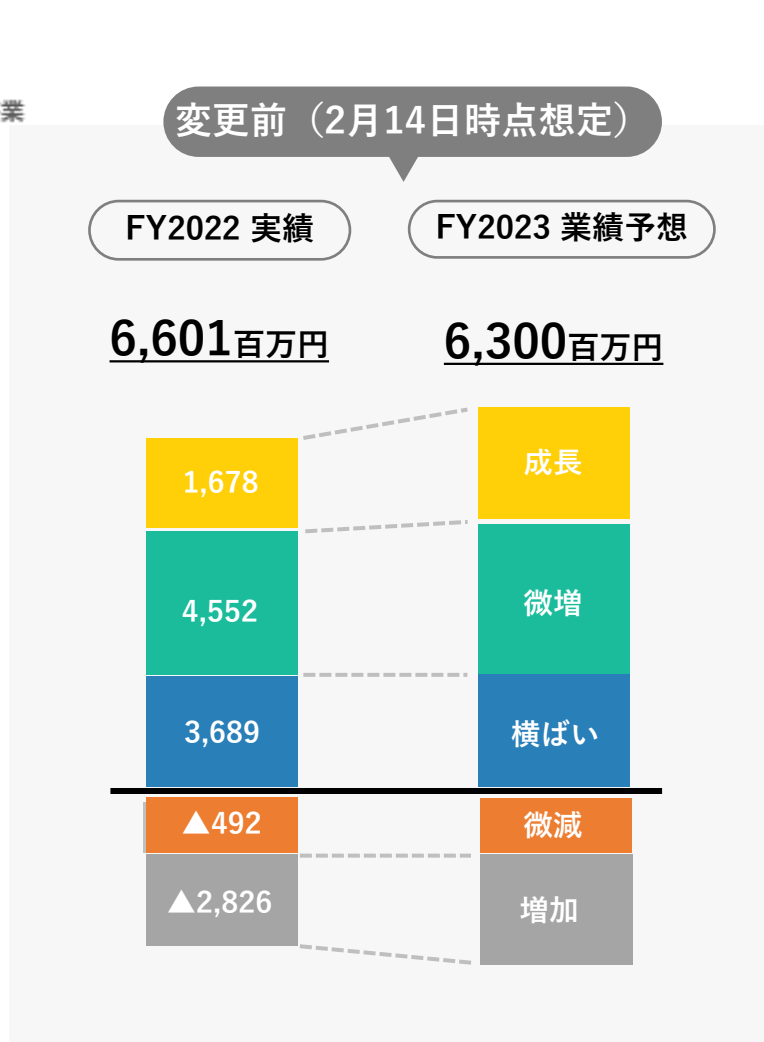
FY2023 業績予想 (8月8日時点想定)

	FY2023 業績予想 (2月14日時点想定)	FY2023 業績予想 (8月8日時点想定)
オートモビル事業	<p><b>総括</b> 横ばいを想定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・半導体不足の影響は徐々に解消、中古車オークションの出品、成約台数は回復すると想定</li> <li>・ライブ中継オークションと車両検査サービスの堅調な推移に加え、大手企業との包括的な業務提携等により、安定的な収益を目指す</li> </ul>	<p><b>総括</b> 堅調に推移を想定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・半導体不足の影響は徐々に解消、中古車オークションの出品、成約台数は<b>左記時点の想定よりも</b>回復すると想定</li> <li>・ライブ中継オークション、<b>落札代行サービス</b>、車両検査サービスの堅調な推移に加え、大手企業との包括的な業務提携等により、安定的な収益を目指す</li> </ul>
デジタルプロダクツ事業	<p><b>総括</b> 微増を想定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前期の中古端末の流通台数減少は下げ止まりを想定</li> <li>・引き続きバイヤー網の拡大や調達先、取扱商品の多様化に注力し、持続的な成長を目指す</li> </ul>	<p><b>総括</b> 微減を想定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前期の中古端末の流通台数減少は<b>継続し軟調に推移すること</b>を想定</li> <li>・引き続きバイヤー網の拡大や調達先、取扱商品の多様化に注力し、持続的な成長を目指す</li> </ul>
コンシューマープロダクツ事業	<p><b>総括</b> 堅調に推移を想定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・B2B 北米、欧州に拠点を設立し海外販売網を強化、オークションの更なる活性化を目指す</li> <li>・C向け 新規出店や非対面買取を強化、ECプラットフォームの拡大やB2B事業とのシナジーによる成長を目指す</li> </ul>	変更なし
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「Selloop」において、多方面での展開、収益化を目指す</li> <li>・花きにおいて、東京砦花き園芸市場、グランブーケ大多喜との更なるシナジーを追求</li> <li>・中古バイクにおいて、「ME:RIDE」の稼働・保有台数の増加、電動ビジネスバイクリース事業及びメンテナンス事業の展開</li> <li>・「カーセー」事業撤退による赤字解消</li> </ul>	変更なし
共通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さらなる成長のため積極的な採用活動による人財の拡充、競争力確保のためのベースアップ</li> <li>・市場環境の変化に対応し、将来の収益の柱とするため、今後に向けた新規事業や研究開発へ経営資源を投入</li> <li>・ESG銘柄としてのブランディングのため、PR・IRに注力</li> </ul>	進捗状況については、p.20にて詳細を説明

# 2023年度 連結業績予想 営業利益 増減要因

➤ オートモビル事業を「横ばい」から「成長」へ、デジタルプロダクツ事業を「微増」から「微減」へと変更

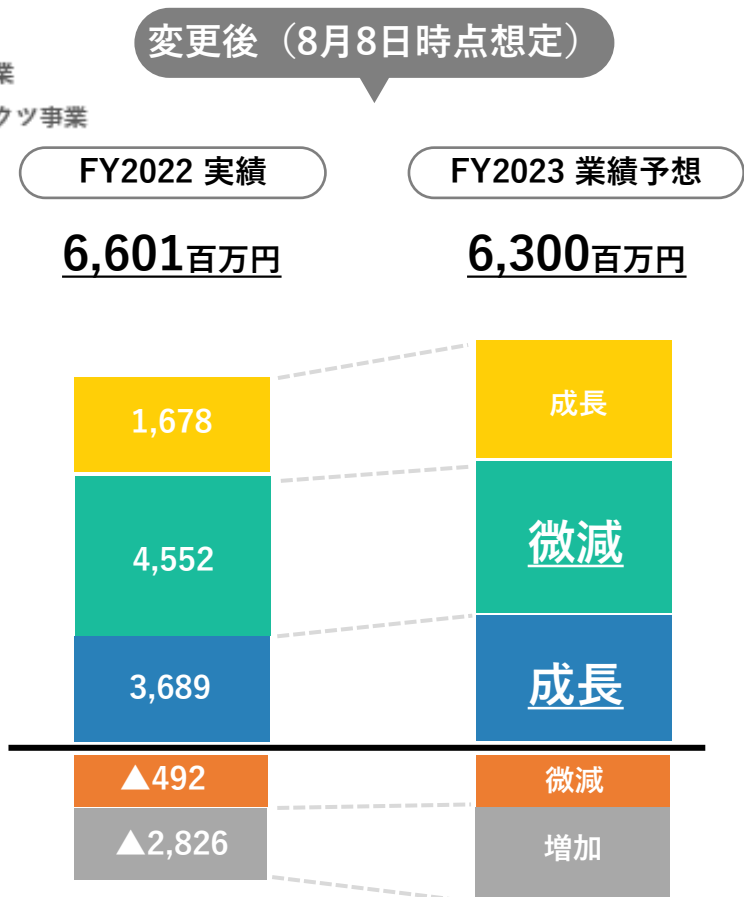
- オートモビル事業
- デジタルプロダクツ事業
- コンシューマープロダクツ事業
- その他
- 共通



# 2023年度 連結業績予想 営業利益 増減要因

▶ 重点実施項目の進捗状況について、6月末時点では主に人財に関連した施策に投入

- オートモビル事業
- デジタルプロダクツ事業
- コンシューマープロダクツ事業
- その他
- 共通



## 重点実施項目の進捗 (6月末時点)

区分	項目	金額
人財	積極的な採用活動による人財の拡充	約2.7億円
	競争力確保のためのベースアップ	
	教育、研修プログラムの充実	
ブランディング	ESG銘柄としてのブランディング	約0.3億円

総額6億円程度の計画のうち、3億円程度  
前年同期比で増加

1. 2023年度 第2四半期累計 決算概要	P. 3
2. セグメント別実績	P. 9
3. 2023年度 予想	P. 17
<b>4. サステナビリティ</b>	<b>P. 22</b>
5. 参考資料	P. 25

# GCVの2022年の数値を公開

## 総循環型流通価値(GCV)

- オークネットの事業活動により、経済と環境に与えた影響を金額的に示した指標
- GCVの規模が拡大することは、モノを捨てずに済んだこと、そして新しくモノをつくらずに済んだことを意味し、地球に対する負荷軽減の指標となる

経済

5,031億円

事業活動により経済を循環させた金銭価値

環境

385億円

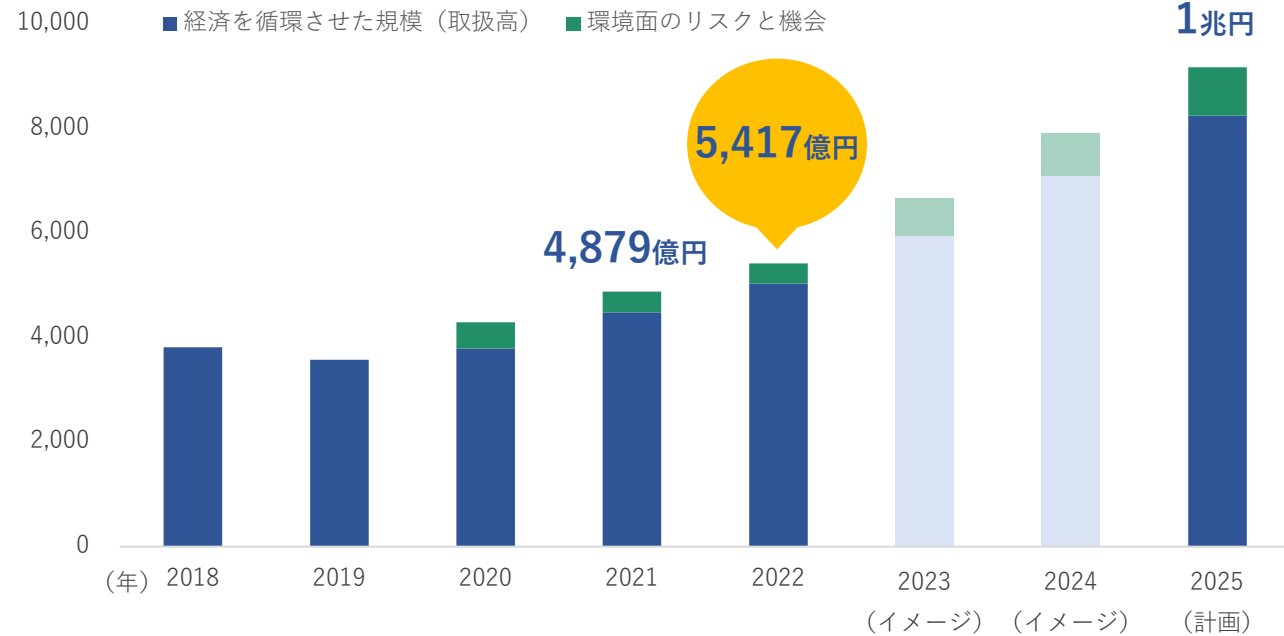
事業活動が環境に与えるリスクと機会の影響の金銭価値の合計

5,417億円

2025年の1兆円に向けて、  
経済の規模拡大だけでなく、社会に欠かせない  
環境貢献と両立しながら事業を展開してまいります

## GCV

(億円)



※事業活動による環境面のリスクと機会は2020年以降からの算出になります

12月期

# GCVにおける第三者的視点獲得の取組

- GCVに関する報告書の作成

GCVの整合性やリユースの可能性等について、環境経済学的視点から、東京大学エコノミックコンサルティング株式会社 (UTEcon) に報告書を作成いただきました

## 3つの観点

01 環境に与える純効果の算定方法の妥当性

02 環境面での機会（事業によるGHG排出量削減効果）の妥当性

03 環境価値の貨幣換算方法の妥当性





1. 2023年度 第2四半期累計 決算概要	P. 3
2. セグメント別実績	P. 9
3. 2023年度 予想	P. 17
4. サステナビリティ	P. 22
5. 参考資料	P. 25

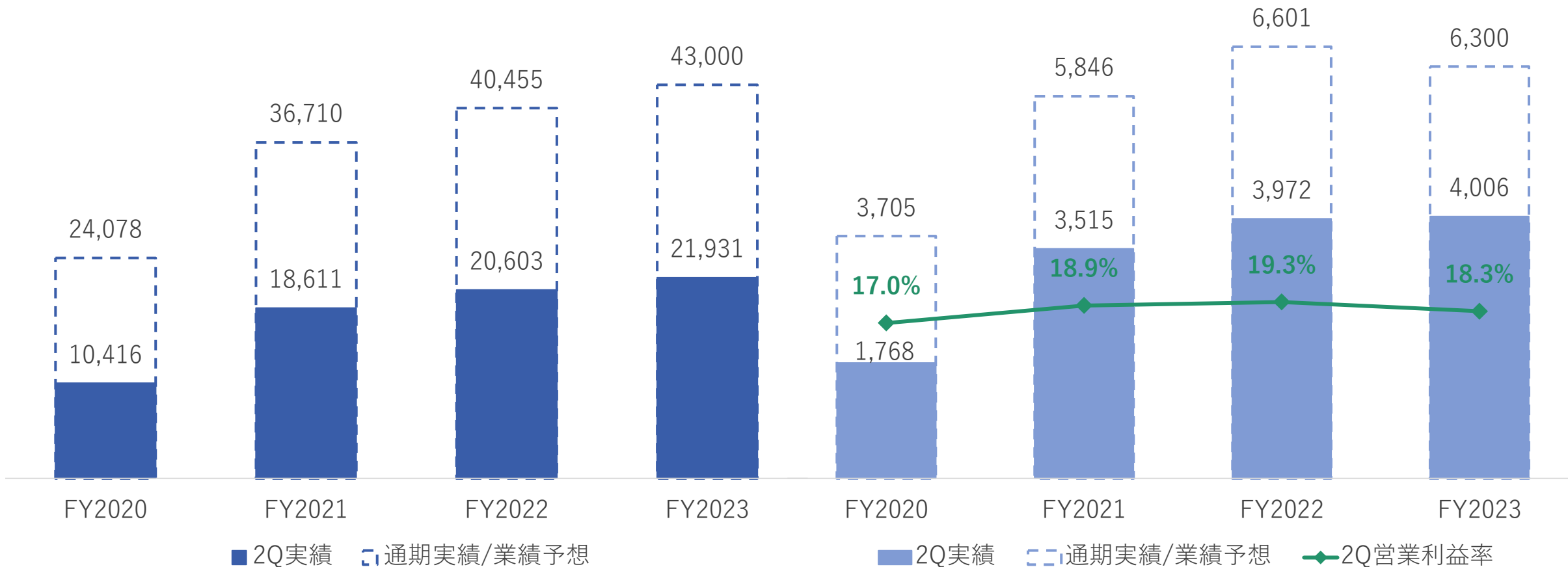
# 2020～2023年度 年度別連結業績推移

(百万円)

## 売上高

(百万円)

## 営業利益



# 連結貸借対照表、連結キャッシュ・フロー計算書

資産 (百万円)	FY2022 12月末	FY2023 6月末	増減
流動資産	30,357	<b>31,709</b>	+1,352
現金及び預金	20,021	<b>19,814</b>	△206
オークション貸勘定	3,538	<b>5,419</b>	+1,880
その他	6,797	<b>6,475</b>	△321
固定資産	6,990	<b>7,038</b>	+47
有形固定資産	1,637	<b>1,629</b>	△8
無形固定資産	1,405	<b>1,455</b>	+49
その他	3,946	<b>3,954</b>	+7
資産合計	37,348	<b>38,748</b>	+1,399

負債・純資産 (百万円)	FY2022 12月末	FY2023 6月末	増減
流動負債	11,299	<b>14,052</b>	+2,752
オークション借勘定	7,202	<b>9,956</b>	+2,754
その他	4,097	<b>4,095</b>	△1
固定負債	3,137	<b>3,197</b>	+59
退職給付に係る負債	1,816	<b>1,858</b>	+42
その他	1,321	<b>1,338</b>	+16
負債合計	14,437	<b>17,249</b>	+2,812
純資産合計	22,911	<b>21,498</b>	△1,412
負債・純資産合計	37,348	<b>38,748</b>	+1,399

(百万円)	FY2022 2Q	FY2023 2Q	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,252	<b>4,371</b>	△880
投資活動によるキャッシュ・フロー	△388	<b>△365</b>	+22
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,131	<b>△4,201</b>	△3,070
現金及び現金同等物の四半期末残高	23,412	<b>19,814</b>	△3,597

# KPI

				FY2020				FY2021			
				1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
オートモビル事業	オークション関連	取扱高	(百万円)	79,527	63,462	87,032	81,057	90,705	87,684	81,561	83,806
		総成約・ 落札台数	(台)	109,099	96,156	115,610	109,326	119,786	116,417	107,334	103,635
	会費	会員数	(会員)	14,108	14,104	14,267	14,362	14,282	14,420	14,497	14,605
	検査料※1	検査台数	(台)	258,903	223,430	229,815	259,900	266,100	266,475	253,557	256,118
デジタルプロダクツ事業	取扱高	(百万円)	9,562	7,605	7,887	9,024	12,283	12,071	8,738	9,717	
	流通台数	国内事業	(台)	591,735	520,791	487,494	543,592	656,847	661,344	510,693	467,773
		米国事業	(台)	89,869	59,611	194,169	308,478	173,951	96,734	46,601	307
	会員	会員数	(会員)	665	707	766	762	800	855	922	989
コンシューマープロダクツ 事業※2	B2B事業	取扱高	(百万円)	2,768	3,720	4,349	6,543	7,324	7,996	8,209	8,912
		出品点数	(点)	128,752	131,425	144,732	204,547	215,753	227,819	227,137	265,100
		成約点数	(点)	96,292	96,093	113,711	142,530	157,627	168,838	158,173	172,961
		会員数※3	(会員)	2,198	2,359	2,384	2,738	2,879	3,013	3,204	3,427
	C向け事業	取扱高	(百万円)	-	-	-	1,654	2,140	2,179	2,027	2,466

				FY2022				FY2023			
				1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
オートモビル事業	オークション関連	取扱高	(百万円)	84,641	100,796	106,313	96,646	104,657	118,736	-	-
		総成約・ 落札台数	(台)	104,115	114,338	111,674	105,316	121,962	135,219	-	-
	会費	会員数	(会員)	14,663	14,706	14,847	14,949	14,999	15,091	-	-
	検査料※1	検査台数	(台)	269,476	268,758	262,791	284,997	318,348	307,586	-	-
デジタルプロダクツ事業	取扱高	(百万円)	13,526	12,261	8,730	10,247	12,443	11,638	-	-	
	流通台数	国内事業	(台)	526,106	499,014	351,156	428,275	445,227	430,091	-	-
		米国事業	(台)	-	-	-	-	-	-	-	-
	会員	会員数	(会員)	1,044	1,132	1,240	1,337	1,359	1,541	-	-
コンシューマープロダクツ 事業※2	B2B事業	取扱高	(百万円)	9,117	9,239	9,575	10,539	10,644	11,164	-	-
		出品点数	(点)	223,206	262,443	251,644	288,861	236,869	269,776	-	-
		成約点数	(点)	160,850	174,562	166,850	187,706	174,900	181,929	-	-
		会員数※3	(会員)	3,586	3,690	3,893	4,092	4,287	4,503	-	-
	C向け事業	取扱高	(百万円)	2,747	2,544	2,912	2,582	2,812	3,033	-	-

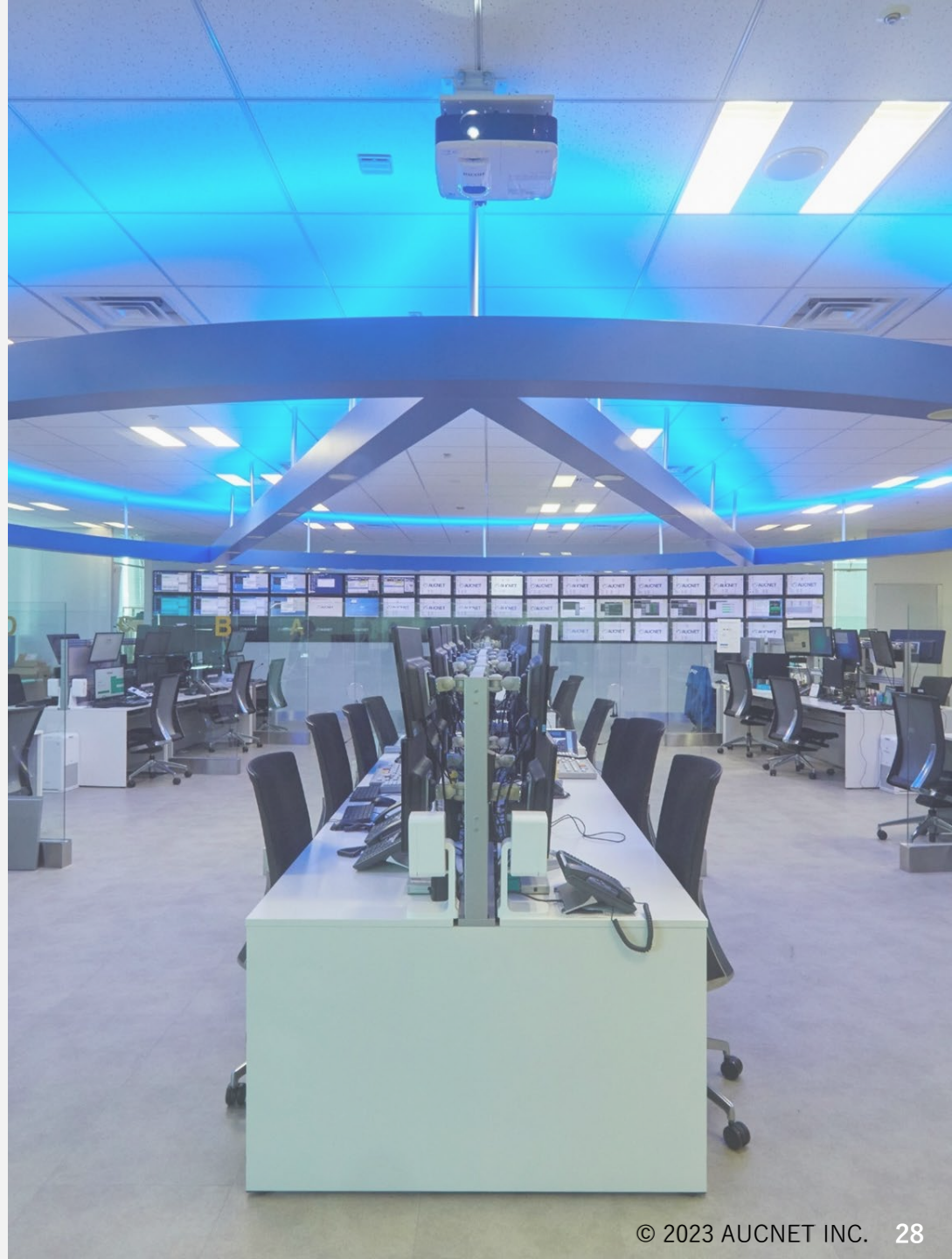
※1 中古バイク検査を含みます

※2 2020年度4Qより、ギャラリーエリアによるKPIが各事業に合算となっております

※3 2022年第3四半期より、会員数に海外バイヤー数を含めて開示しております

# 会社概要

会社名	株式会社オークネット（英文社名：AUCNET INC.）
創業年月日	1985年6月29日
本社所在地	〒107-8349 東京都港区北青山二丁目5番8号 青山OMスクエア
決算日	12月31日
連結従業員数	860名（2022年12月31日現在）
資本金	1,807百万円（2022年12月31日現在）



## 理念

### オークネットの 理念は「本物主義」

「本物のサービスとは何か」を常に追求し、  
パートナーの皆様が、より効率的に、  
安心した取引を実現すべくサービスを探求してまいりました。

中古車事業にとどまらず、  
「あらゆる価値あるモノを必要な人のもとへ」とお届けすべく、  
情報の力で、多種多様な事業領域の循環型マーケットを  
創造してまいります。



## サービス概要 - オートモビル

### 中古車流通



会員数**14,000**社超※

### 中古車検査

5



(車両検査サービス)

- ✓ 業界唯一の車両検査会社（年間**100万台超**※）
- ✓ 国内全域の出張型検査・評価サービスを展開しており、約**200名**※の検査員で構成される

1

**TVオークション**

(中古車オークション)

- ✓ 高年式低走行やリースアップのクルマが多数出品
- ✓ 店頭でクルマを置いたまま、クルマを移動することなく出品が可能

2

**共有在庫市場**

- ✓ 全国の会員様が保有する**6万台**※のクルマをいつでも仕入可能

3

**ライブオークション**

(ライブ中継オークション)

- ✓ 全国**76**※の現車オークション会場と提携し中継

4



**株式会社 アイオーク**

(落札代行サービス)

- ✓ 全国**116**※の現車オークション会場等と接続し出品・落札を代行





## サービス概要 - デジタルプロダクツ

### 国内・海外 オークション

1

Mobile&  
PC Auction

2

GLOBAL BIDDING SYSTEM



- ✓ 取扱商品は、中古スマートフォンの他中古PCやタブレット端末等。更なる商品展開を目指す
- ✓ 海外バイヤー網の強化に注力しており、会員数は**1,300社**※を超える。香港に加え、2022年11月にドバイに支店を設置

- ✓ 世界中でデータ消去のトップシェアを誇る「blancco(ブランコ)」と共同出資で2010年に日本法人であるブランコ・ジャパンを設立
- ✓ オークションで扱う情報関連機器のデータ消去**100%**を実現

### データ消去

3

blancco



### 下取サービス

4

トレードインシステム



- ✓ 個人、法人のお客様に対して手持ちデバイスの下取り（買取）を案内するためのソフトウェアを提供予定
- ✓ 当社の商品化センターでデバイスを受領後、検査・検品し、個人情報の消去証明を発行することも可能

B2B

1

AUCNET  
Brand Auction



- ✔ 長年築いてきた強固な会員ネットワークは合計**4,000会員**※にのぼる
- ✔ 業界最大規模の取扱高は**約38,000百万円**※

2

GALLERY RARE



- ✔ ブランドバッグや時計・宝飾品などの買取及び販売を実施
- ✔ 東京、大阪を中心に**9店舗**※を展開  
実店舗だけでなくECサイトにも注力

C向け

3

VALTIQUE VINTAGE  
T O K Y O



- ✔ 2022年9月にハイブランド・ヴィンテージアイテムを販売するECプラットフォームとして開始
- ✔ CO<sub>2</sub>やH<sub>2</sub>Oの削減量を記載したタグを取り付け、サステナブル意識の喚起を図る

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

